

## 推進会議 Bグループ 第2回会議

実施日時 : 令和3年11月17日(水) 14:45~15:45  
会場 : 旭区保健福祉センター分館1階  
出席者 : Bグループメンバー 18名  
実施内容 :

- ①Bグループワークの目的の明確化
- ②入退院支援のアンケート結果から考える
- ③多職種研修会の提案
- ④デイサービスの現状について

旭区役所 三浦さんから、改めBグループの最終目標について以下ご説明がありました。

- ・目に見える具体的成果物ではなく、医療・介護の連携を強化する
- ・顔の見える関係、そしてお互いに意見を言い合える関係を築く

その為には、まずはお互いの立場への理解を深めることが課題であり、具体的取り組みとして、前回は訪問ヘルパー、そして今回はデイサービスにスポットライトを当てて、それぞれの立場・課題等を多職種全体で共有していきたい。

## 多職種連携の進化



### デイサービス現場の状況

前回は、ヘルパー事業所が抱える問題にスポットライトを当てて意見交換を行ったが、今回は、デイサービス連絡会の坂本さんより、デイサービスの現状についてお話を聞いた。

- ・デイサービスは担当会議に出席できないケースが多く、現場での気付きはケアマネ経由でフィードバックしている
- ・デイサービス連絡会は20以上の事業所が所属している
- ・デイサービスは人と人との触れ合い活動であり、リモートの利用は不可能
- ・カラオケは事業所によって再開するところが出てきた(再開したのは5事業所)。ただ、カラオケする時の感染対策をどこまでするかについては、事業所によって違う
- ・去年はコロナ発生時に保健所の対応が遅くて、事業所を閉めるか非常に悩んだが、今は対応がずいぶん良くなってきた
- ・利用者で1人でも陽性者が出れば、その方と接触の無い利用者さんの家族にまで、PCR検査を求められて困るケースがある。ご家族の理解も必要

### 入退院支援のアンケートから考える

#### 旭区在宅医療・介護連携相談支援室

#### 入退院支援についてのアンケート調査

実施日 令和3年9月  
対象者 (任意) 開業医、ケアマネ、病院MSW、地域包括  
回答数 23名

アンケートの中で特に印象に残った以下の回答を題材に、グループワークの後、お話を聞いた。

#### Q1. 入退院支援における課題と考えていること

- 『急な入院を言われても難しい』 病院MSW
- 『急な退院を言われても難しい』 ケアマネ
- 『入院時に詳しい情報が欲しい』 病院MSW
- 『退院時に本人の状態が分かりにくい』ケアマネ

皆さんが、率直に話して頂いたことで、病院側、在宅側、それぞれの立場や思いを共有することができた。

また、コロナ禍での面会やカンファレンスの中止が、情報共有や連携を難しくしていることもあり、会えない時にも繋がれるリモートが一つのキーワードになるとの意見もあった。

こうしたことを踏まえ、2022年3月にリモートについて考える多職種研修会(シンポジウム形式)が区役所から提案された。

多職種研修会:『リモート』をキーワードに(案)

### 次回会議のお知らせ

- ワーキングAグループ会議(第2回)  
日時 : 12月15日(水) 13:30 ~ 14:30
- ワーキングBグループ会議(第2回)  
日時 : 12月15日(水) 14:45 ~ 15:45

※場所はいつでも保健福祉センター分館1階

